



277

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年8月31日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 「アメラジアン」として歩んだ道 その思いとは

迫る



「アメラジアン」という言葉をご存じでしょうか。アジア各地に駐留した米軍兵と当地の女性から生まれた子を指していいます。日本では沖縄の米軍基地にいた男性と日本人女性などの子が多いとされ、3000～4000人いるといいます。今回登場するのはその一人、沖縄県出身の仲村和枝さん(76)＝写真＝です。3歳のときに母は病死、

父の顔も名前も知りません。集団就職で沖縄を離れ、出自について詳しく語ることはほとんどありませんでした。転換期は1990年代、春のセンバツ。母校の読谷高校が出演し、甲子園のアルプス席に足を運んで応援に参加。そこで聞こえてきたのは、懐かしい沖縄の方言でした。そうか、自分はアメラジアンだけれど故郷は沖縄なんだ——。そこから

31日(日)＝1、3面  
たびたび帰省し、沖縄について学ぶように。そして今、父の存在についても調べようとしています。民間の支援団体が行っているDNA鑑定に自身の検体を提出しました。父につながる人を探してもらってDNAを照合するというものですが、結果が出るかどうかはわかりません。でも、今すべてを乗り越えて、楽しみに待っているといひます。

論点

## AIで故人「再生」 9月3日(水)＝オピニオン面



「DeepBrain AI」のユーチューブから

生前の動画や音声  
を人工知能(AI)が学習し、デジタル空間で故人を「再現」するサービスが中国など海外で広がり、日本でも相次いで登場しています。「AI故人」はどこまで受け入れられるのでしょうか。

AI故人に詳しい  
松原仁・京都橘大教授▽中島岳志・東京科学大教授▽吉永京子・慶応大大学院特任准教授——の3人に話を聞き、倫理面などでどんなリスクがあり、私たちはどう向き合うべきかを考えます。

そこが聞きたい



2024年の小中高生の自殺者数は529人で過去最多となりました。新型コロナウイルス禍で増加に転じた全体の自殺者数が減少する一方、子どもの自殺は、20年以降500人前後で高止まりしています。

### 子どもの自殺 高止まり

31日(日) Ⅱくらしナビ面

NPO法人「自殺対策支援センターライフリンク」代表などとして、長く自殺対策に取り組んできた清水康之さんⅡ写真Ⅱは「日本の未来が危機に瀕(ひん)している」と訴えています。

特集ガイド

## 「Qちゃん」に聞く世界陸上

9月2日(火)＝夕刊2面



2年に1度開催される陸上の世界選手権が9月13日、東京で開幕します。2000年シドニー・オリンピック女子マラソン金メダリストで、TBSの中継番組でスペシャルキャスターを務める高橋尚子

さん＝写真＝にとっても思い出深い国際大会といひます。日本陸上界の歴史に残る快挙から四半世紀。今も走り続ける魅力、そして世界陸上の楽しみ方などをたっぷり語ってもらひました。

### 竹橋の窓辺から

編集後記



毎日新聞社は、オンラインイベント「睡眠専門家と考える『働く女性のための健康』」を9月3日(水)午後7時より開催いたします。健康を支えるうえで、睡眠は不可欠です。専門家が、働く女性の睡眠課題に向き合い、運動・食事・ストレッチなど、日常に取り入れやすい改善策を紹介いたします。日々のパフォーマンスを支えるヒントが満載です。性別を問わず、どなたでもご参加いただけます。お申し込みはQRコードからどうぞ。(山田寿治)

毎日新聞